

「^{ホウ}報・^{レン}連・^{ソウ}相」と「初心」を忘れず、 日々是精進。

採用面接で、代表弁護士に、事務所をよくするような仕事をしてもらえたら、評価するから、頑張ってほしいと言われて、法律事務が、正直どんな仕事なのかもわからなかったが、胸を膨らませ入所した。

法律事務所職員

辻 久子

こんなはずではなかった入所当時

ところが入所してみると全く違った。事務局の仕事は、雑務と弁護士に言われた書面を、ただ、裁判所や法務局に持っていくだけ。窓口で不備があっても内容がわからないため、何もできずに持ち帰ることも多かった。もちろん、仕事は暇。弁護士も事務局には期待していない。これでいいのか、なんとかしたいと思った。

とはいえ、入所当時は、法律用語など全くわからず、裁判所の電話メモをとるのも必死。誰に聞いていいのかもわからずとまどっていた。

業務研修会との出会い

そんな時、事務所にきた郵便物から事務員の業務研修会があることを知り、その研修会に参加して驚かされた。研修会の主催者側の法律事務員の方は、弁護士のサポート役としてしっかり仕事をされていた。こんな風に仕事をしている事務員の方もいるんだと、気持ちがすごく明るくなったことを今でもはっきり覚えている。

次の日、早速弁護士に、自分がどういうふうの仕事をしていきたいかを相談した。「報告、連絡、相談」は必ず行うので、頼まれた仕事は何のためにするのかをわかるため、記録等を見せてもらうようにした。そして、弁護士の手を煩わせないでも事務局ででき

そうな仕事は、相談しながらさせてもらえるようにお願いした。

同時に、世話人会や労働組合が行っている夜の研修会に積極的に参加してスキルアップにも努力した。そこでの事務員の方々との出会いは、私の宝である。

そのうち弁護士も、事務局と連携して仕事をする方がやり易いことを理解してくれ、仕事の幅も広がり、昼間の弁護士会の研修にも行かせてくれるようになった。

今では、法律事務の事務局は6名になり、弁護士のサポート役として頑張っている。

法律事務の仕事をして思うこと

20年経っても、まだまだ未熟。法律事務は奥が深いと思う。慣れが一番の大敵。新人事務員が入るたびに初心に返らされる。事務職員能力認定研修の倫理研修では、非弁行為について、認識が甘かった気がして考えさせられた。

改めて、

①「^{ホウ}報・^{レン}連・^{ソウ}相」の遵守。

② 初心を忘れないこと。

③ スキルアップと情報収集を怠らないこと。

肝に銘じて頑張りたい。日々是精進。

そして、微力だが、後輩たちのスキルアップの手助けが少しでもできたらいいと思う。